

# 旅人を詩人にすると 「天草」の魅力探訪



The incredible panorama of AMAKUSA[風(NAGI)]



05



イルカウォッチングは、大人(中学生以上)2,500円、子供(小学生)1,500円、幼児(2歳以上)500円、当日予約可。お申し込みお問い合わせは天草イルカインフォメーション、TEL 0969-26-4500。



07

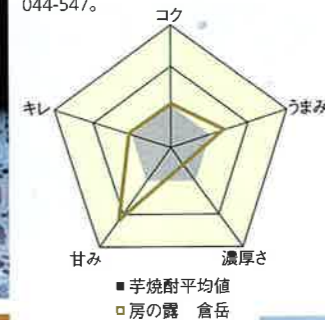


06

04京都から駆け付けた中島シェフ。「シモア」は、京都市中京区御幸町通御池上ル TEL 075-212-2130。05天草特産梅肉ポークにフォアグラを詰めた逸品。06中島シェフの夫人でソムリエの姉子さん。07日本最大級の地鶏・天草大王。雄の大きなものは背丈が90cmにも達する。



01「房の露 倉岳」のお問い合わせは、TEL 0966-42-2008。「シモン茶」「シモンうどん」等シモン芋関連商品のお問い合わせは、株式会社くらたけ、TEL 0120-044-547。



02

02シモン茶を練りこんだ「海鮮えびうどん」(500円)を味わうには「えびす茶屋」へ。天草市倉岳町宮田1284-8 TEL 0969-64-2405

03シモン芋の広報宣伝に尽力している元・倉岳町長の稲津俊徳氏。



[上]天草と熊本本土は、天草五橋を利用する陸路だと車で約2時間半。そこを約20分で結ぶのが「天草エアライン」。予約お問い合わせは、TEL 0120-889-489、携帯、PHS、IP、公衆電話からは、TEL 0969-34-1515。  
[下]機上から眼下に広がるパノラマも大いなる魅力。

## AMAKUSA



### 東京からのアクセス

〔空路〕羽田空港→ANA・JAL・SNA→阿蘇くまもと空港 阿蘇くまもと空港→天草エアライン→天草空港  
羽田空港→ANA、JAL、SKY→福岡空港 福岡空港→天草エアライン→天草空港  
〔空路と陸路〕羽田空港→ANA・JAL・SNA→阿蘇くまもと空港  
阿蘇くまもと空港→第二空港線→益城熊本IC→高速(九州自動車道)→松橋IC 松橋IC→国道266号→上天草市→国道324号→天草市

### ホテルアレグリアガーデンズ天草

天草市本渡町広瀬996 TEL 0969-22-3161



司馬遼太郎は「街道をゆく」で「天草は旅人を詩人にする」と評した。旅人を手っ取り早く詩人の境地へ誘うのは何と云っても土地の酒。「房の露・倉岳」は、倉岳町特産のシモン芋が原料だ。ブラジル原産のこの白い薩摩芋は、カリウムが約一千倍なのをはじめ、天然ミネラル、ビタミン類、繊維質を他品種より桁違いに多く含む一方、収穫は二年に一度という貴重品。お茶にしては、葉と茎を練り込んでうどんにしては、葉と茎を練り込んで、味香り戦略研究所は、「倉岳」をうまみや甘みが強く、優しい味わいと分析した。実は六年前、人を介して届けられたこの酒を、皇太子殿下がご愛飲されたこともある。

天草は食材の宝庫だ。それを知悉している京都「シモア」の中島昌シエフは、去年に続き、今年も2/4〜2/6に、ホテルアレグリアガーデンズ天草「グランマール」で腕を揮った。テーマは、「フレンチで食す天草の食材」。大好評だった。

五和町から天草下島の北側にある通詞島の沖合まで船を出す。すると野生のミナミハンドウイルカが群れでお出迎えだ。温暖でエサも豊富なため、約二百頭がこの海域を回遊しているという。人懐こく、手の届きそうな距離で顔を出したかと思えば、時にはこちらの船に競争を挑みかけてきたりする。

夢中で、詩を詠むことを忘れた。